



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成22年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 熊谷組

コード番号 1861 URL <http://www.kumagaigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部主計部長

(氏名) 山本 祐一

TEL 03-3235-8606

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	112,593	△5.4	965	△26.4	177	△77.3	341	△69.9
22年3月期第2四半期	118,993	2.0	1,311	109.8	783	—	1,133	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	1.91	0.91
22年3月期第2四半期	6.35	4.10

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	178,864		44,446		24.1		131.74	
22年3月期	190,105		44,310		22.6		130.55	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 43,120百万円 22年3月期 42,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	△6.2	3,700	△25.9	2,900	△31.0	1,700	△30.5	9.52

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 181,544,607株 22年3月期 181,544,607株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 3,010,883株 22年3月期 2,963,265株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 178,564,091株 22年3月期2Q 178,564,172株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(参考) 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の個別業績 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	90,760	△ 7.0	1,586	86.2	1,004	92.5	1,229	5.5
22年3月期第2四半期	97,539	2.3	852	19.3	521	211.7	1,166	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	6.84	3.27
22年3月期第2四半期	6.49	4.20

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	145,678	25,152	17.3	30.90
22年3月期	149,832	23,978	16.0	24.37

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 25,152百万円 22年3月期 23,978百万円

2. 平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	194,000	△ 8.0	2,800	△ 11.2	2,000	△ 16.2	1,300	34.2	7.24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 四半期財務諸表	9
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11
5. 四半期個別受注の概況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善が続き、個人消費も回復基調を持続しておりますが、輸出や生産は弱含みとなり、失業率も依然として高水準にあるなど、景気は停滞気味に推移しました。

建設業界におきましては、設備投資及び住宅投資に一部持ち直しの傾向が見られましたが、公共投資は予算削減の影響から減少を続けており、事業環境は総じて厳しいものとなりました。

このような状況にあつて当社グループは、建設市場の変化を先取りし、お客様に新たな付加価値を提供し続けるべく、平成22年5月に「中期経営計画（平成22～24年度）」を策定いたしました。「誠実な営業」「誠実な施工」「誠実なフォロー」という不変の基本姿勢のもと、全社を挙げて本計画の達成に取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期の業績は、売上高（完成工事高）は、前年同四半期に比べ64億円（5.4%）減の1,125億円となりました。利益につきましては、営業利益は、販売費及び一般管理費は低減したものの、売上高の減少及び売上総利益率の低下により、前年同四半期に比べ3億円（26.4%）減の9億円、経常利益は、為替差損の影響等により、前年同四半期に比べ6億円（77.3%）減の1億円となりました。四半期純利益は、貸倒引当金戻入額など特別利益5億円のほか、特別損失3億円等を計上し、前年同四半期に比べ7億円（69.9%）減の3億円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、現金預金は増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ112億円（5.9%）減少し、1,788億円となりました。

負債合計は、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ113億円（7.8%）減少し、1,344億円となりました。なお、これら資産・負債の増減は、建設事業において工事の完成引渡しを年度末に集中する傾向にあることを要因としております。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前期末に比べ1億円（0.3%）増加し、444億円となりました。なお、自己資本比率は、前期末の22.6%から1.5ポイント向上し、24.1%となっております。

連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収が進み、57億円のプラス（前年同四半期は139億円のマイナス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付金の回収等により、7千万円のプラス（前年同四半期は3千万円のプラス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、約定による借入金の返済は進みましたが、新たな借入れを行ったため、3億円のプラス（前年同四半期は59億円のプラス）となりました。

なお、これらにより、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は前期末に比べ58億円（18.4%）増加し、377億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、世界経済の改善や各種経済政策の効果を背景に、緩やかに回復へ向かうと見込まれますが、デフレや円高の進行、雇用情勢の一層の悪化懸念など、景気下押しリスクが多分に存在しており、予断を許さない状況が続いております。当社グループとしては、さらなる経営の効率化を推し進め、収益力の向上と市場競争力の強化を図ってまいります。

このような状況及び当第2四半期の実績等を勘案した結果、現時点において平成22年5月14日に公表した通期の連結業績予想を変更しておりません。

なお、個別業績予想についても変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法において、一般債権の貸倒実績率が前連結会計年度の連結財務諸表の作成において使用した貸倒実績率と著しく変動していないと考えられるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用して算定しております。

・繰延税金資産の回収可能性の判断において、業績の著しい好転又は悪化、その他経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測を利用しております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

記載すべき事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	37,754	31,885
受取手形・完成工事未収入金等	80,610	98,546
未成工事支出金	7,380	5,973
繰延税金資産	2,060	2,175
その他	10,911	10,069
貸倒引当金	△2,143	△2,420
流動資産合計	136,574	146,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,665	2,741
土地	10,234	10,234
その他（純額）	1,142	1,031
有形固定資産計	14,041	14,007
無形固定資産	377	479
投資その他の資産		
投資有価証券	12,243	12,605
繰延税金資産	9,721	9,502
その他	12,674	14,600
貸倒引当金	△6,767	△7,318
投資その他の資産計	27,871	29,389
固定資産合計	42,290	43,876
資産合計	178,864	190,105

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	61,891	73,043
短期借入金	22,921	23,253
未成工事受入金	6,622	5,484
完成工事補償引当金	373	364
工事損失引当金	369	828
賞与引当金	919	1,206
その他	15,200	16,848
流動負債合計	108,298	121,029
固定負債		
長期借入金	7,187	6,482
退職給付引当金	18,862	18,222
その他	70	61
固定負債合計	26,120	24,765
負債合計	134,418	145,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,341	13,341
資本剰余金	7,881	7,882
利益剰余金	21,983	21,641
自己株式	△520	△518
株主資本合計	42,685	42,346
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	689	771
為替換算調整勘定	△254	△205
評価・換算差額等合計	434	566
少数株主持分	1,325	1,397
純資産合計	44,446	44,310
負債純資産合計	178,864	190,105



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
完成工事高	118,993	112,593
完成工事原価	111,333	105,701
完成工事総利益	7,660	6,892
販売費及び一般管理費	6,349	5,926
営業利益	1,311	965
営業外収益		
受取利息	82	45
受取配当金	114	38
その他	60	49
営業外収益合計	256	132
営業外費用		
支払利息	431	416
為替差損	52	199
その他	300	304
営業外費用合計	784	920
経常利益	783	177
特別利益		
前期損益修正益	1,388	431
その他	150	92
特別利益合計	1,538	523
特別損失		
前期損益修正損	268	257
貸倒引当金繰入額	221	—
その他	185	63
特別損失合計	676	320
税金等調整前四半期純利益	1,646	379
法人税、住民税及び事業税	155	117
法人税等調整額	351	△13
法人税等合計	507	103
少数株主損益調整前四半期純利益	—	275
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△65
四半期純利益	1,133	341

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,646	379
減価償却費	539	535
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,608	△812
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	38	640
受取利息及び受取配当金	△195	△83
支払利息	431	416
為替差損益 (△は益)	100	209
持分法による投資損益 (△は益)	153	162
売上債権の増減額 (△は増加)	6,975	17,905
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△1,907	△1,406
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,846	△11,095
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△1,113	1,140
その他	1,306	△1,730
小計	△13,480	6,261
利息及び配当金の受取額	205	99
利息の支払額	△437	△395
法人税等の支払額	△194	△265
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,906	5,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△287	△402
有形固定資産の売却による収入	19	7
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	75	6
貸付けによる支出	△271	△152
貸付金の回収による収入	247	159
その他	260	463
投資活動によるキャッシュ・フロー	36	72
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,531	306
長期借入れによる収入	463	2,111
長期借入金の返済による支出	△2,005	△2,044
その他	△7	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,981	361
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	△272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,843	5,861
現金及び現金同等物の期首残高	35,372	31,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,528	37,731

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

#### 4. 四半期財務諸表

##### (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	25,577	21,996
受取手形・完成工事未収入金等	69,981	79,553
未成工事支出金	5,981	4,142
繰延税金資産	1,635	1,593
その他	10,989	9,803
貸倒引当金	△ 2,108	△ 2,350
流動資産合計	112,058	114,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,495	1,560
土地	7,578	7,578
その他(純額)	232	241
有形固定資産計	9,305	9,379
無形固定資産	194	229
投資その他の資産		
投資有価証券	7,459	7,552
繰延税金資産	7,135	6,994
その他	14,902	16,720
貸倒引当金	△ 5,378	△ 5,783
投資その他の資産計	24,119	25,484
固定資産合計	33,620	35,093
資産合計	145,678	149,832

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	53,247	58,893
短期借入金	22,660	23,053
リース債務	9	4
未成工事受入金	5,909	4,434
完成工事補償引当金	328	324
工事損失引当金	258	636
賞与引当金	326	339
その他	14,197	15,659
流動負債合計	96,936	103,346
固定負債		
長期借入金	6,954	6,482
リース債務	20	9
退職給付引当金	16,596	15,996
その他	18	18
固定負債合計	23,589	22,507
負債合計	120,525	125,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,341	13,341
資本剰余金	7,881	7,882
利益剰余金	3,727	2,497
自己株式	△ 405	△ 406
株主資本合計	24,543	23,314
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	608	664
評価・換算差額等合計	608	664
純資産合計	25,152	23,978
負債純資産合計	145,678	149,832

## (2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
完成工事高	97,539	90,760
完成工事原価	91,932	84,828
完成工事総利益	5,607	5,931
販売費及び一般管理費	4,755	4,344
営業利益	852	1,586
営業外収益		
受取利息	87	49
受取配当金	150	50
その他	62	51
営業外収益合計	301	151
営業外費用		
支払利息	432	412
為替差損	61	198
その他	137	122
営業外費用合計	631	734
経常利益	521	1,004
特別利益		
前期損益修正益	1,385	381
その他	134	72
特別利益合計	1,519	454
特別損失		
前期損益修正損	261	257
貸倒引当金繰入額	218	—
その他	176	58
特別損失合計	656	316
税引前四半期純利益	1,384	1,142
法人税、住民税及び事業税	18	58
法人税等調整額	199	△ 145
法人税等合計	218	△ 87
四半期純利益	1,166	1,229

## 5. 四半期個別受注の概況

### (1) 個別受注実績

	受 注 高	
	百万円	%
23年3月期第2四半期累計期間	80,004	△ 4.9
22年3月期第2四半期累計期間	84,132	△ 11.7

(注) パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

### (参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

		前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		比 較 増 減		
		金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)	
建 設 業	土 木	国内官公庁	14,360	17.1	5,409	6.8	△ 8,951	△ 62.3
		国内民間	18,862	22.4	12,583	15.7	△ 6,279	△ 33.3
		海外	437	0.5	236	0.3	△ 201	△ 46.0
		計	33,660	40.0	18,228	22.8	△ 15,432	△ 45.8
建 設 業	建 築	国内官公庁	3,668	4.4	2,230	2.8	△ 1,438	△ 39.2
		国内民間	46,803	55.6	59,527	74.4	12,724	27.2
		海外	—	—	18	0.0	18	—
		計	50,471	60.0	61,776	77.2	11,304	22.4
建 設 業	合 計	国内官公庁	18,028	21.5	7,639	9.6	△ 10,389	△ 57.6
		国内民間	65,665	78.0	72,110	90.1	6,444	9.8
		海外	437	0.5	254	0.3	△ 183	△ 41.9
		計	84,132	100	80,004	100	△ 4,128	△ 4.9

### (2) 個別受注予想

	通 期	
	百万円	%
23年3月期予想	190,000	5.1
22年3月期実績	180,729	△ 16.6

(注) パーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

### (3) 個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等

当第2四半期累計期間の個別受注実績は、建築は医療福祉施設や商業施設等を中心に国内民間工事が増加し、前年同四半期を上回る結果となりました。しかしながら、土木は国内官庁工事では治山治水や道路、国内民間工事では電力・エネルギー関連施設等で減少したため、土木・建築合計では、前年同四半期に比べ41億円(4.9%)減少し、800億円となりました。

なお、通期の個別受注予想につきましては、平成22年5月14日の決算発表時の受注予想から変更はありません。